

第6回ウィズあかし運営委員会  
「市民みんなでつくるウィズあかしを考える会議」議事録

令和4年6月10日（金）18：00～20：15  
複合型交流拠点ウィズあかし 8階スペース∞

参加者：運営委員 9 名 明石コミュニティ創造協会スタッフ 14 名

1. あいさつ（事務局）

今回で6回目の運営委員会ということで、夕方からの開催にもかかわらずご参加いただきありがとうございます。当初は任期が2年間にもかかわらず、指定管理期間が1年延長したことを受け、引き続き1年間の任期延長を快く引き受けていただいたこと、改めて感謝申し上げます。

前回の第1期指定管理については、コミュニティ創造協会への単独指名だったが、今回の第2期指定管理については、コンペなどの競争となる予定のため、指定管理申請に向けて取り組んでいるところである。

本日は、皆様からも第2期指定管理におけるウィズあかしがどのようになってほしいかなどのアイデアを沢山いただければと思っている。本日の運営委員会において、スタッフも参加・勉強させていただき、いい施設運営に結びつけたいと思うのでよろしくお願ひする。

2. 活動報告

事務局よりスライドを使用して、2021年度ウィズあかしの活動報告や第2期ウィズあかし運営委員会の振り返りなどを行った。

3. 意見交換①

テーマ1「報告を受けて気になったこと・感想」について、各チームで意見交換を行った後、情報共有を行った。

(A グループ)

日報について、文字を書き残して情報共有するところが大事である。今までは朝礼やソフトウェアで情報共有していたが、どうしても情報が流れてしまうことがあった。対応についても記載があるため、同じ事例が発生しても対応がわかっている。

一方で日報を一定期間でまとめる方法より、改めてどう評価するかの仕組みづくりが大事である。統一化をするためにアナログでスキャンする方法からエクセルで管理する方法に変更すれば、何か月後に検索する時に容易に探せたり、どういう変化があったのかを見ることができる。

#### (B グループ)

ウィズの実績が積み重なり変化につながっているという話で、例えば教えて先輩をきっかけに新たなサロンを開設したいと思っていた方が開設することになったり、先輩で講師をしていた人もサロンの紹介や後押しすることでいろんな活動の発展につながっている。

また、ウィズあかしとして、ウィズゆうなどの機会を作っているいろんな団体とのつながりができているところがいい。

そして、ウィズあかしが主体的ではなく、後押しする形で活動が広がっているところがいい。

#### (C グループ)

アンケートの結果を希望者は見れるように公開してもいいのではないかな。

事業報告書において、市民活動団体の相談の内訳が見れたほうがいい。

メンバーズの登録が個人と団体で登録できるようになったのはいいが、市のSDGsパートナーズには個人で申請できないのはどうかと思う。

月曜日の休館日にフリースペースが利用できないので、例えば月曜日も開館してはどうかという意見があった。

#### (D グループ)

スタッフからの意見であるが、改めてアンケートを見ると若い人の利用が少ない。相談などのいい事業を実施しているので、若い人達に対してもっと広めていきたいと感じる。

振り返ると新しいことにも取り組めた1年である。

日報に関して、その時には気付かないことでも読み返すことで気付かされることが多いのでいい取り組みである。

川西市ではケーススタディを行っており、あとで気になったことに付箋を貼り、どのように対応したかを詳しく聞いて共有して、自分の取り組みに活かすことを行っている。

指定管理申請について、アウトプットではなくアウトカムを市に見せることで取り組みが評価されることもあり、そういうことが大事である。

#### 4. 意見交換②

テーマ2「2027年のウィズあかしはどんな場所であってほしい？」について、各チームで意見交換を行った後、ワールドカフェ（少人数のグループを入れ替えながら意見交換を行うワークショップ）方式で意見交換及び情報共有を行った。

（別紙を参照）

## 5. まとめ

### (事務局)

では、最後に2人の学識者の方からそれぞれコメントをいただきたいと思う。

### (委員)

中間支援拠点の指定管理事業に対して、ある種の危機感を持っている。100年に一度と言われるコロナ禍によって、時代が大きく変わる速度が加速している。その大きな転換期においては、今まで通りにいかないことが増えてくるだろう。そんな時代に必要とされる中間支援（啓発）拠点とは、どんな存在なのか、それに応えることが重要だと思う。

以前より、定量評価と定性評価の話をしているが、明石では真正面から考えておられて敬服している。量的な評価軸だけではなく質的な評価軸をもって、何がどう変わっていったのかを上手く可視化することがポイントではないだろうか。中間支援拠点やその運営事業によって、市民がどう変わっていったのか、市民に対してどんな影響を与えたのかなどが可視化できないか。それができるところが今後も残っていくのではないかと思う。

このような危機感を持つ一つの要因として、指定管理事業への管理系会社などの進出がある。

私たちのマチの市民活動センター・男女共同参画センターの指定管理事業では「利用者自治」と名付けて、そのセンターのことは利用者とともに考え、ルール作りも一緒にすることになっている。利用者が一堂に会してワークショップをしながら、自分たちが納得のいくルールを作っていく。このような「利用者自治」は「住民自治」「市民自治」につながっていくのではないだろうか。

これは一つの例だが、市民視点を持ち、市民の声を聴き、それを事業や施策に反映させることができる団体、そういう市民のネットワークを持った組織ならば、管理系会社にはできないことができるのではないか。明石コミュニティ創造協会さんはそれが可能な稀有な組織ではないかと思う。

### (委員)

運営委員会の仕組みについて、指定管理やウィズあかしを考えるうえで、あり方を考える場があることは改めていいと思った。活動報告を聞いていく中でも、ステップアップが目に見えてわかったし、運営委員会を重ねるたびに改善されている。例えば日報の取り組みもいいと思った。徐々にウィズあかしが変わっていくこともアウトカムのひとつであると思うし、それに合わせて市民の方々も変化していくことがすごく伝わってくる。

2027年度のウィズあかしを考えるテーマでは、東西の問題と子どもからお年寄りまでの問題があり、どの施設でも抱えている大事なことだとは思った。一方で、東西問題で言えば拠点のない西側をどうするのかという話になりがちだが、逆にパワーゾーンであ

り、今までやってきたことを大事にすることも今後の継続性を考えていくと重要であり、その継続・蓄積の上に新しいことがあると考える方が大事である。

あと指定管理の問題について、どんな指定管理者の公募を出すかによって、指定管理の良し悪しが決まるため、ほぼ行政側の問題である。大阪の指定管理者制度を例に出すと、同じ内容を半分程度の額で実施するようなことになっている。そもそも地方自治法が改正された時は、民間ノウハウを導入することで利用者のサービスの質が向上することと、プラス $\alpha$ で行財政負担の圧迫を軽減するというものだったが、今は完全にお金の話だけになっているので、それでは市民サービスの向上にはつながらない。

ウイズあかしにおいては、まずは行政にサービスの向上をしっかりとアピールして、これを実施するためには行政側のサポートが必要であることをアピールする今期末だと思う。

いずれにしても、それを評価するのは行政ではなく市民であり、明石市民にとってウイズあかしがどう評価されていくのか、明石市役所がどう指定管理を出すのかを信じてやるしかないのかなと思う。若い人でも高齢者でも、東西どちらに住んでいるに関わらず、明石に対する愛着や自負心を持ってもらって、このセンターの価値をより深く知ってもらうことが重要である。何か新しく変わったことをするよりはむしろ、地道に一步步つ積み重ねていくことがウイズあかしには大切であると思う。

(事務局)

皆さま、本日は本当にありがとうございました。

最後に2人の意見を聞いて、次の5年後に向けた視点をいくつかいただきました。それを目指す手法であったり、同時にコミュニティ創造協会として取り組まないといけないこともミッションとしていただきました。

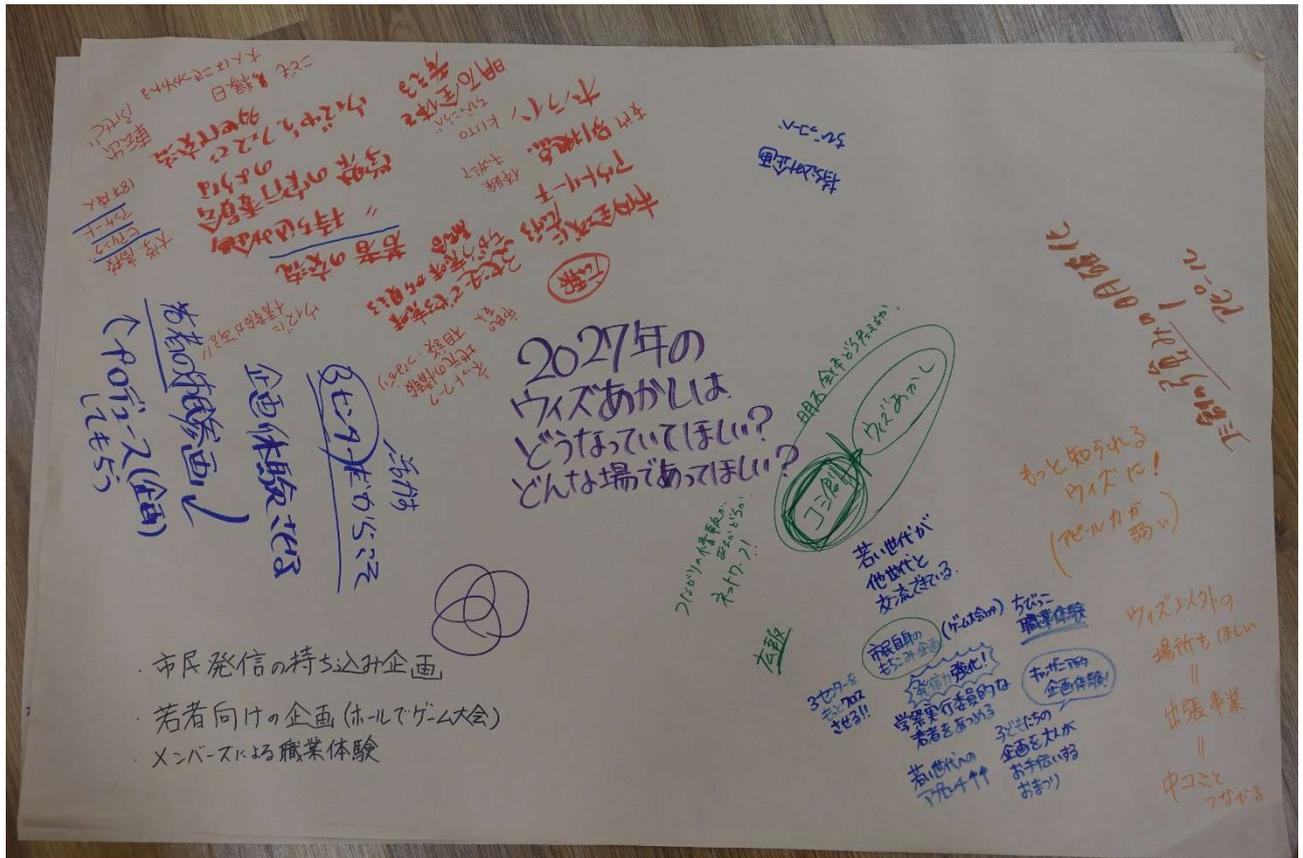
その辺りを踏まえて、私たち自身も次の指定管理の準備をしていくが、まずはウイズあかしの役割としては、今年度に今までの成果をどう見せていくかである。今後の運営委員会の中でも話し合いできたらと思っている。

では、第6回ウイズあかし運営委員会を終了する。

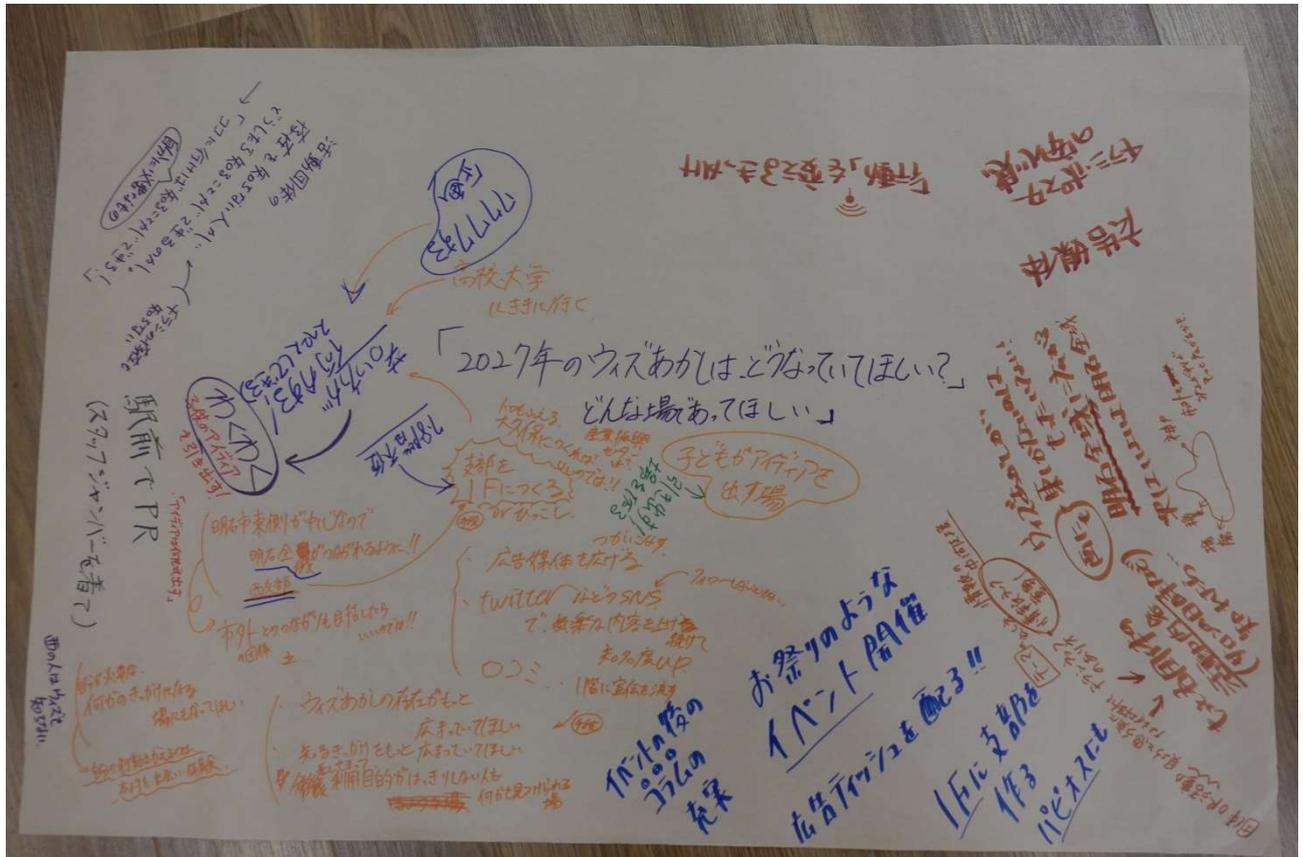
以上

テーマ2 「2027年のウイズあかしはどうなってほしい?どんな場所であってほしい?」

Aグループ



Bグループ





2022.6.10. ウィズアかし運営委員会.

◎ 2027年のウィズアかし、どうなっていてほしい？

どんな場をあってほしい？

- 若者・学生の持ち込み企画、市民参加の企画
- 若い世代が自分達にとってまちの将来を考えたうえで...
- ウィズアかしだけでなく、UICに明石全体を考えた。
- 若い人たちに困った時に来れる場々に。
- 西側の方々にウィズアかしがあることを知ってもらえるように
- クリエイターが集まる機会を!
- 明石全域がつながれる施設に
- 悩んだ時に情報を得る、きっかけになるように。
- ウィズアかし引越!! (笑)
- 子ども達のアイデアを引き出すような取組。
- もっと広報の充実を!
- イベントのコラボの充実。
- サービスが低下しない方法を。
- 市民活動がどうあるべきの心配
- 市民の声が反映される。
- 市民が主役になるウィズアかし。